

予算特別委員会

木原 宏
委員長

議員21名（正副議長、予算の代表質問を行った議員を除く）を委員として、5日間にわたって審査を行いました。平成30年度一般会計予算、特別会計国民健康保険事業予算、特別会計後期高齢者医療事業予算を賛成多数で、その他の特別会計予算については、全会一致で可決すべきものと決しました。

予算に関連して付託された条例7件については、6件は全会一致で、1件は賛成多数で、規約の変更については全会一致で全て可決すべきものと決しました。

公明党

賛成

- 「健康・子育て・教育」の充実でさらに「暮らしやすいまち」の実現を
- ▶ 保育園待機児童の解消に向けた取り組みを高く評価する。引き続き、子どもを持つ市民が働きやすい環境と保育園の整備を進められたい。
 - ▶ 教育現場の負担軽減及び効率的な校務環境の整備につながる「学校間ネットワーク」と「校務支援システム」の構築着手を高く評価する。
 - ▶ 市民の健康づくりを促すスマートフォンを利用した「健康ポイント事業」の開始を評価する。多くの市民が、積極的に参加する事業となるよう取り組みを進められたい。

日本共産党

反対

- 市民の暮らしの実態を踏まえて、市民の暮らしを守る市政運営を行うべき
- ▶ 小学校8校の単独調理方式を廃止し、共同調理場化する市の方針は、「温かい給食を」という子どもたちの願いに背を向けるものであり、見直しを求める。
 - ▶ くるりんバスは多くの方に乗っていただけるよう、料金の値下げや徹底した周知、住民意見を生かしたルートとなるよう改善を。
 - ▶ 立川駅前歩道立体化計画については、これまで建設費や維持管理費に約87億円の経費がかかっている。先にこれまでの経費や歩行量などの検証を行るべき。

緑たちかわ

反対

- ネットカフェ難民やワーキングプアなど困窮層に目を向けた行政計画の策定を
- ▶ 生活保護費の削減は、生活保護受給者だけでなく、国民健康保険の一部負担金免除にも影響があり問題。
 - ▶ 元号改正に伴う5千300万円ものシステム変更経費は、非合理的。西暦使用へ切りかえを。

◆予算特別委員会委員◆

◎…委員長 ○…副委員長

◎木原 宏	瀬 順弘	高口 靖彦	梅田 春生
○松本 まさき	大沢 純一	大石ふみお	中山ひと美
○門倉 正子	江口 元気	伊藤 大輔	須崎 八朗
中町 聰	松本あきひろ	稻橋ゆみ子	
若木 早苗	安東 太郎	永元須摩子	
谷山きょう子	山本みちよ	大沢 豊	

たちかわ自民党・安進会

賛成

- 過去最大の予算を活用し、「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」の実現を
- ▶ 「立川市自治会を応援する条例（仮称）」の策定に取り組むことを評価する。
 - ▶ 武蔵砂川駅周辺のまちづくりを進め、立川駅南口58街区活用事業は、都と連携し具現化を図られたい。
 - ▶ 保育園・学童保育所の待機児童解消に向けた取り組み、学力向上への取り組み、小学校統合建替事業を評価するとともに、さらに前に進められたい。
 - ▶ 住民情報系システム構築運用事業は、三鷹市・日野市との共同利用（自治体クラウド）による取り組みを進められたい。

市民フォーラム

賛成

- 文化的なまちづくり、人を育てることに注力する今後の取り組みに大いに期待する
- ▶ 将来へ負担を残さないため、未利用地の早期売却など税外収入増加を含め持続可能な市政運営を。
 - ▶ ひとり親家庭をはじめ、経済的困窮家庭への支援、保育園、学童の待機児童対策を評価するとともに、今の課題解決にとどまらず、未来の立川っ子を育むことにつながるという視点を持ち、さらなる取り組みを。
 - ▶ 交通安全教室の充実と自転車走行空間の整備など、地域住民への周知啓発と、道路状況を見極め、安全第一で取り組まれたい。

立川・生活者ネットワーク

賛成

- 一人一人の暮らしと生きがいをともにつくり高め合う社会＝「地域共生社会」の実現を
- ▶ 災害時に活用できる農業井戸の設置補助を評価するとともに、看板を設置するなど市民へ周知を。
 - ▶ 「ドリーム学園」を、課題解決や市民の財産として生かされる拠点となるよう議論することを求める。

一般会計予算に対する討論

要旨